

【介護支援専門員（ケアマネジャー） 試験問題】

第27回（令和6年度） 問58（権利擁護と成年後見制度）

次のうち、成年後見制度について **正しいものはどれか。3つ選べ。**

- 1.親族は、成年後見人になることができない。
- 2.後見開始の審判は、本人も請求することができる。
- 3.法人も、成年後見人に選任されることがある。
- 4.身上保護（身上監護）とは、本人に代わって財産を管理することをいう。
- 5.成年被後見人の法律行為は、原則として、取り消すことができる。

第26回（令和5年度） 問58（権利擁護と成年後見制度）

次のうち、成年後見制度について **正しいものはどれか。3つ選べ。**

- 1.成年後見人の職務には、身上保護（身上監護）と財産管理が含まれる。
- 2.後見開始の申立は、本人の所在地を管轄する地方裁判所に対し行わなければならない。
- 3.成年後見制度の利用の促進に関する法律では、国の責務が定められている。
- 4.法定後見制度は、本人の判断能力の程度に応じて、後見と補助の2類型に分かれている。
- 5.成年後見制度利用促進基本計画では、権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりが必要とされている。

【社会福祉士 試験問題】

第33回（令和2年度） 問81（権利擁護と成年後見制度）

次のうち、成年後見制度において成年後見人等に対して付与し得る権限として、**正しいものを1つ選びなさい。**（※本人＝被後見人）

- 1.成年後見人に対する本人の居所指定権
- 2.成年後見監督人に対する本人への懲戒権
- 3.保佐人に対する本人の営業許可権
- 4.補助人に対する本人の代理権
- 5.任意後見監督人に対する本人の行為の取消権